

経営協議会学外委員からの提言に対する対応（平成 23 年度）

開催日	議 題	意 見	対応状況
第 2 回 23. 6. 24	東日本大震災に係る入学検定料の免除について	○東日本大震災への対応には、積極的に力を入れて取り組んでいただきたい。	①経済的支援 ・平成 23 年 6 月：宇都宮大学震災義援金から災害見舞金を支給 延べ 57 名，総額 29 万円 ・平成 23 年 7 月：学生後援会から見舞金を支給 延べ 57 名，総額 188 万円 ②震災ボランティア活動 ・平成 23 年 7 月，9 月：宮城県石巻市及び七ヶ浜町で泥だし清掃，がれき撤去 ・平成 23 年 8 月，9 月：岩手県大船渡市を中心に学習支援，メンタル支援 ③震災に対応した講義科目の開設 ・「危機を見つめる力」「震災ボランティアの実際」 (平成 23 年度前期・集中講義) (※これらのほか，学納金の免除，震災ボランティア活動，職員宿舎の提供，アパート無償提供を平成 23 年 4 月から実施済。)
第 3 回 23. 9. 30	2011 年度版環境報告書について	○環境配慮の観点として，学生に対する休講案内や提出物の受領方法の電子情報化のシステムを構築すべきではないか。	・平成 24 年 6 月から，学生ポータルサイトに休講情報システムを試験的に公開した。 (※シラバス検索，履修登録の Web 化については前年度から運用)
第 6 回 24. 2. 29	大学改革について	○大学改革におけるポイントとして「グローバル人材の育成」の観点を入れてはどうか。 ○国際的な視野を持つ大学を参考にしつつ，さらに高い水準をめざすべく「オプティクス教育研究センター」の改革に期待する。 ○海外の大学との交流協定等によって国際交流のさらなる拡大に期待する。 ○農学部を見直し，地域をはじめ対外的にも強みをアピールして多くの学生を引き寄せるような取組に期待する。	・本学の中期計画においても地域との国際交流を促進することを掲げていることを踏まえ，「地域のグローバル化」を支える人材養成を目的に，平成 24 年度文部科学省グローバル人材育成事業に応募した。 ・バイオサイエンス教育研究センターと連携し，平成 25 年度文部科学省特別経費(プロジェクト分)を概算要求した。 「バイオイメージング技術の総合的推進事業」 ・平成 24 年 7 月，アイルランド国立大学ダブリン校との大学間交流協定(学生交流に関する合意書及びダブルディグリープログラムに関する覚書を含む。)を締結し，国際交流の取組みを推進した。 ・平成 24 年 7 月，農学部学科改組の計画書を文部科学省に提出した。 (平成 25 年 4 月から「生物生産科学科」を「生物資源学科」と「応用生命化学科」に改組)

<p>第7回 24.3.15</p>	<p>社団法人栃木県経済同友会との包括連携協定（案）について</p>	<p>○外国人留学生の県内就職をもっと広めていければ良いのではないか。</p>	<p>・栃木県経済同友会及び県内全ての高等教育機関と連携し、「外国人留学生に対する企業説明会」を平成24年2月に本学において初めて実施した。（参加企業13社。参加留学生51名）。平成25年度も引き続き実施予定</p>
------------------------	------------------------------------	---	--